平成 29 年 7 月 26 日

三田市の図書館を考える市民の会　御中

三田市文化スポーツ課
課長　横溝　朋之

要望とお尋ねについて（回答）

平成 29 年 7 月 7 日付けでお尋ねのありました標記のことについて、下記の通り回答いたします。

第一点。別添の当会の文書で詳しく述べている要望について、貴課からも図書館へ実施を指導していただきたく思います。

【回答】

（１）研修や館内ミーティングの時間をとり、スタッフ間の情報共有を行うこと

（２）公開できるかを確認し、貴会に結果を連絡すること

（３）図書館と市との連絡は毎日運行し、図書館・分館・分室の本の移送については、現場での実態をふまえ適正に行うこと

（４）利用者への連絡は、電話、はがき、メールとし、登録方法や資料によって連絡方法を選択して、実施すること

以上、４点について図書館に指導しました。

第二点。図書館運営の「不備」と「職員の質の低さ」について貴課の見解をお示しください。図書館の管理運営については、貴課職員が定期的にモニタリング調査を行っています。その評価は常に「良い経営」「適正以上」という評価だったと認識しています。ほとんどの場合、２名の課員による聞き取り調査と聞いていますが、上記のような高い評価にもかかわらず、図書館の現状は館長が「不備」と認めざるを得ない状況にあります。市によるモニタリング調査のあり方とその評価に強い疑問を抱かざるを得ません。

【回答】

図書館運営については、市のモニタリング調査と図書館運営評価委員会で評価をしております。引き続き、市ではモニタリング調査において評価を行いますのでご理解をお願いします。

なお、３館・室間の連絡便の運航についても、見解に変更はないか改めてお尋ねします。

【回答】

連絡便の運行については、見解に変更はございません。

以上